

石川県白山自然保護センター普及誌

# はくさん

特集 中宮展示館リニューアルオープン

第22巻 第1号

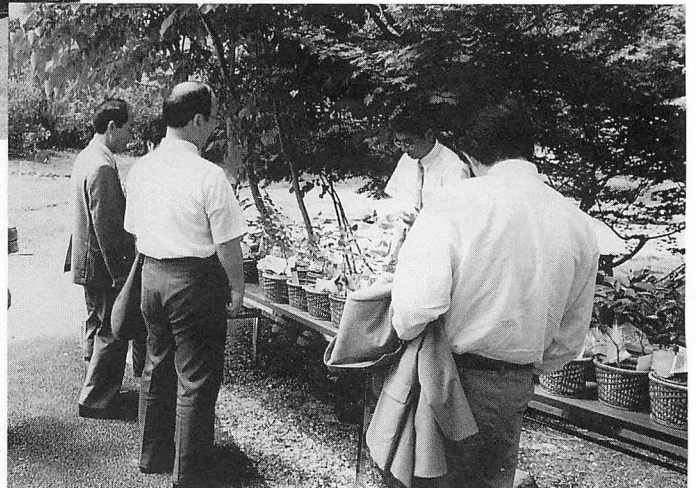


# 中宮展示館リニューアルオープン



平成6年8月10日、改修完成式典を約70名の展示改修に関係した方々、周辺の関係各機関の方々に集まっていただき行いました。

式典に参加した方には、当センターが育てたブナの苗をプレゼントしました。ブナが豊作だった平成2年に白山で採取した種から育てたもので、樹高約30cmぐらいまで成長していました。また、式典当日、一般の方々に、約100名にもプレゼントしました。



# 愛される展示館をめざして

石川県白山自然保護センター

所 長 米山 競一

この度、石川県白山自然保護センター中宮展示館の改修が完成し、内容を一新して、去る8月10日に開館致しました。

昭和48年に白山自然保護センターが中宮温泉の地に誕生し、併せて、普及啓蒙活動の中心として展示館が併設されました。これまで、多くの方々に支えられ、80万人を越える入館者を数えるに至り、大きな成果を得てきました。しかし、20年の年月を経過し、展示施設が老朽化してきたため大がかりな改装を行うこととなり、平成2年度より準備を進めて参りました。

改修された今度の展示のテーマはブナ林ですが、ブナ林は、環境庁が実施した第3回緑の国勢調査の発表以来、残された最後の自然林としてクローズアップされ、保護されるべき自然の象徴的存在となっております。このブナ林は、白山を代表する森林でもありまして、すべての生命の根源である水を養い、さまざまな生物に住居を与えるなど多くの生命に豊かな恵みを提供し、優れた自然環境として高く評価されております。したがって、この林をテーマに選んだことについては、時宜を得た的確な選択であったと思っております。

今回のブナ林の展示の大きな特徴は、四季のブナ林をそのまま館内に表現したこと、そして、ブナ林の生き物を五感を使って確かめる森の体験コーナーを設けたことです。ここで得たブナ林の印象と知識は、さまざまな形で訪れた方々の心をとらえ、野外のブナ林へ足を運ぶきっかけを与えることと思います。そこでまた、数多くの体験を積み重ね、ブナ林が果たしている役割について理解を深めることができれば、本物のブナ林へ誘ったという展示館の役割が重ねて評価されることになるわけですね。

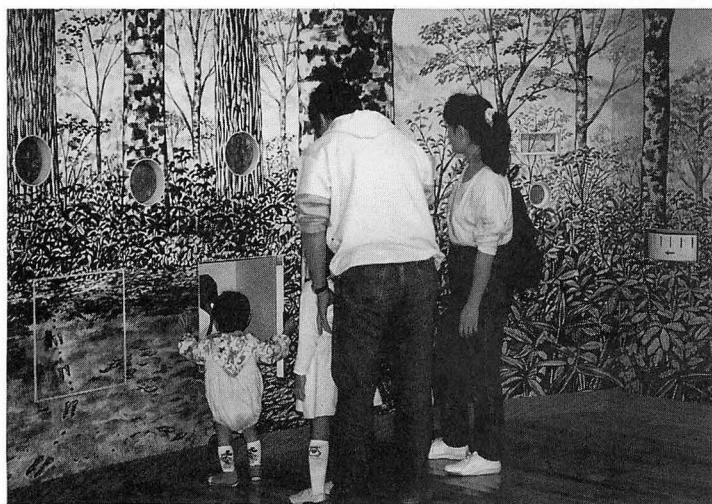
さて、ここでの展示物をおとして、自然と人間のかかわりを学び、その自然の重要性を理解した方々が、人類のことだけでなく他の生物との共存を考え、そして、今日、明日のことだけでなく、子や孫の、さらに遠いまだ顔を見ない将来の世代の明日を考えて、その頃の人々が現在の私たちと同じように豊かな自然の恵みを受けられるような、そのような自然環境の保全の在り方を真剣に考えていただければと思います。昨今の環境問題は、地球規模の広がりを持ち、産業活動のみならず私たちの日常生活に起因することが多くなっていると言われております。つまり、解決の鍵となるものの大部分が、私たちの懐にしまわれていることを意味しています。これからは、人間もブナ林も水や空気などの無機物も、わたしたちが生きて行くためには、優劣つけがたい大切な環境であることを理解して、優れた環境を守るために積極的に行動していかなければならない時期に来ているようです。

これから、石川県白山自然保護センター中宮展示館が自然を学ぶ方々の生涯教育の場として、あるいは地域の環境教育の拠点の一つとして、より多くの方々に利用して戴きたいと思っております。また、私たちが利用される方々の要望に応えるよう努力し、愛される展示館として、その役割を果たして行きたいと思っております。

# ブナ林展示室

白山の植生は、ふもとから山頂にかけていくつかに分かれています。そのなかで、もっとも広いのがブナ林です。原生的な林は全国的に少なくなりましたが、白山にはまだ多く残されており、四季折々に美しく装いを変わっていきます。白山の豊かな自然の代表、それがブナ林です。

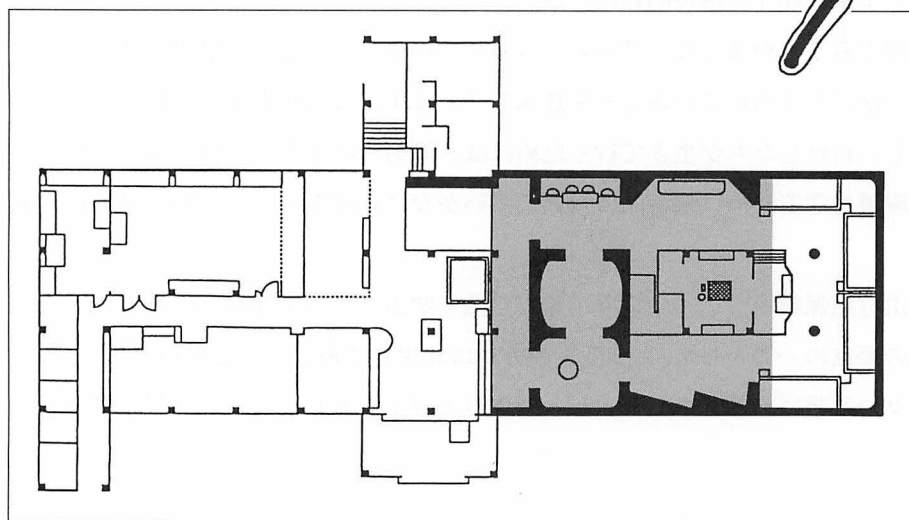
ブナ林展示室では、そんなブナ林に生育する動植物とそこを生活の場としてきた人々の暮らしについて紹介しています。



何がかくれているのかな？

## 森の体験コーナー

森を知るには実際にそのなかへ足を踏み入れてみるのが一番。このコーナーでは、目、鼻、手など全身を使って森を体験してみてください。いつもよりもちょっと注意深くしてみると、いままでは気がつかなかったものが感じられるはずです。



## 森の母ブナ林

ブナはすらりとした女性的で優美な樹形をしており、人間を含め多くの生き物の命を支えていることから、ヨーロッパでは「森の母」といわれ、古くから親しまれてきました。ここでは、ブナの木、ブナ林の豊かさ、ブナ林の役割などについて紹介しています。



焼畑の火入れ

## ブナ林と生きる

自然に恵まれた白山のブナ林は、そこで生きる人々に対しても恵まれた「生活の場」を提供してきました。ブナ林には野生の有用植物や動物が多く、人々はそれらを利用しながら焼畑や出作りを行ってきたのです。ここでは、ブナ林とともに生き、ブナ林の自然をうまく利用して豊かな生活文化を築いてきた人々の生活を紹介します。

## 生き物のすみかブナ林

ブナ林にはブナ以外にもいろいろな植物が生育しており、多様で豊かな環境をつくっています。そこは、さまざまな動物のえさやすみかとなっています。ブナ林は多くの生き物のすみかとなっているのです。ここでは、それらの生き物の網の目のようにつながった食う食われるという関係について紹介しています。

## ブナ林を守る

昔、白山は今よりも広いブナ林におおわれていました。しかし、今では多くの木が切られ、原生林は減ってきています。一方、ブナ林を復元する取り組みも始められています。ここでは、ブナ林の分布の今と昔、中宮展示館周辺のブナ林復元状況について紹介しています。

## ブナ林の植生

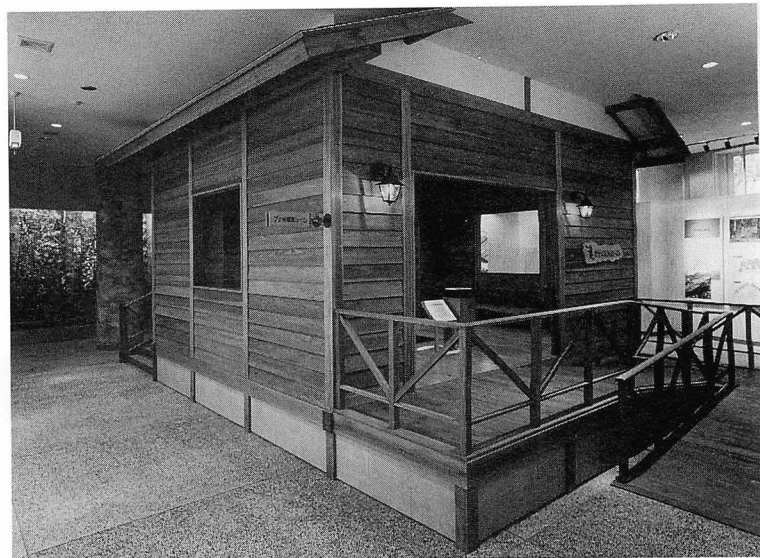
日本のなかでも冷涼で多湿な気候のところでは落葉広葉樹林が広がり、特にブナ林が高い割合を占めています。ブナ林にはササ類がみられるのが特徴です。ここでは、白山のブナ林の植生について、その特徴と人間による植生の変化について解説しています。



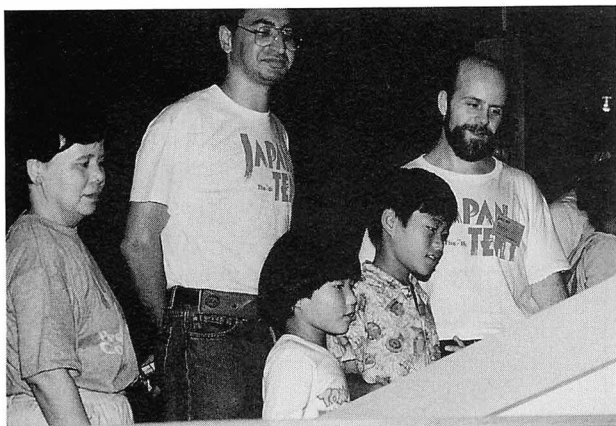
ブナの苗を植える

# ブナ林観察ルーム

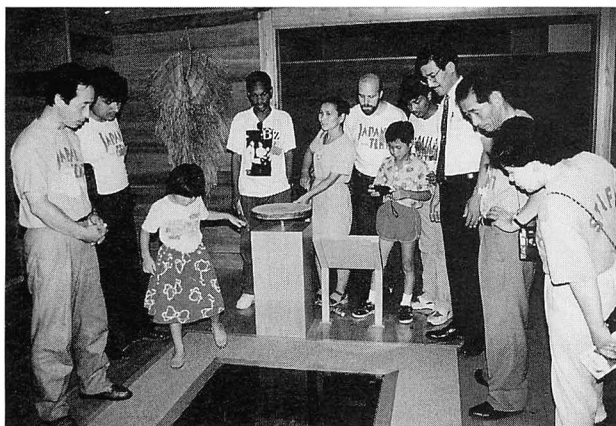
双眼鏡を手にとって下さい。肉眼では見落としがちな、林のなかの小さな昆虫や花、木の実などを、じっくり観察してみましょう。アニマルアイカメラでは動物たちがみている来館者の姿を映し出しています。観察ルーム内には四季のハンドルがあります。イヌワシになった気分になって、普段はみることのできない上空からの四季折々のブナ林をお楽しみ下さい。



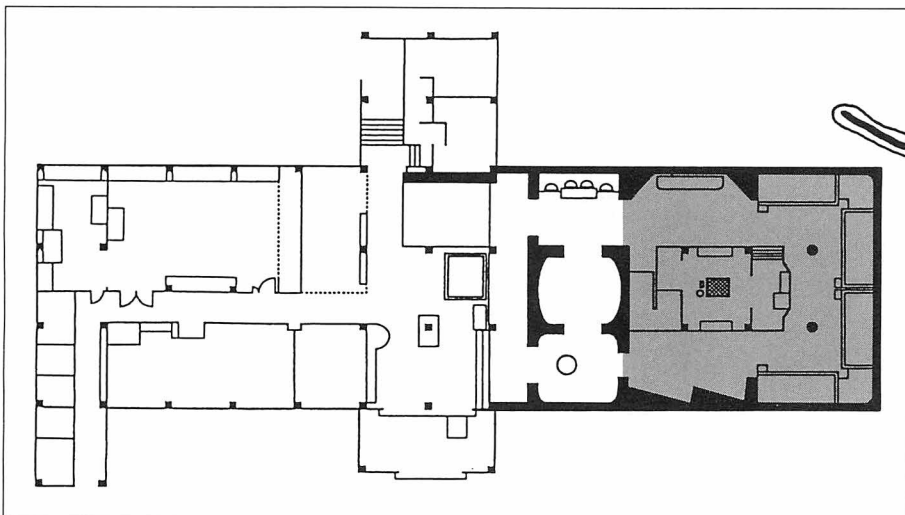
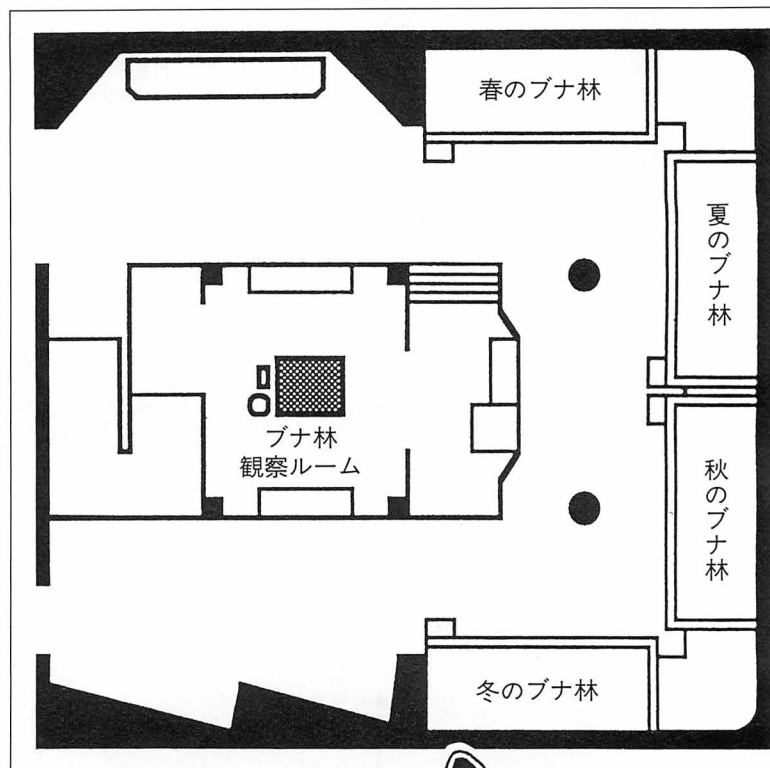
ブナ林観察ルーム



アニマルアイカメラ

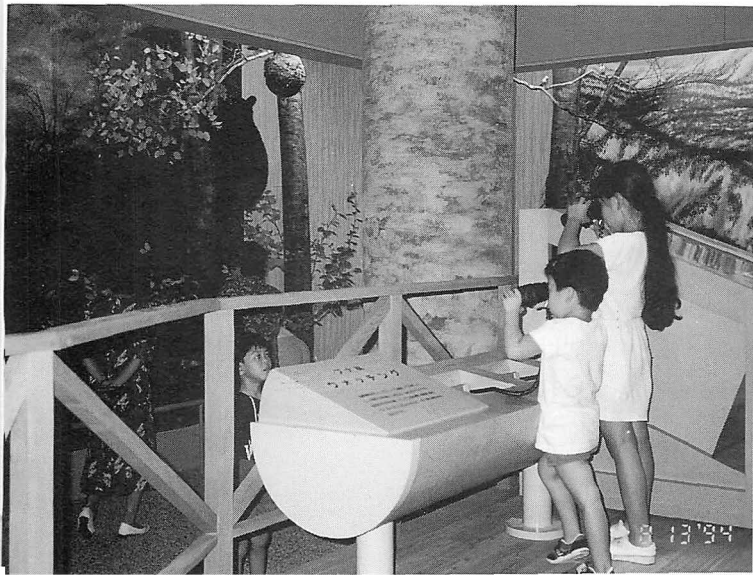


四季のハンドル



## 四季のブナ林

ブナ林は季節により、様々に表情を変えていきます。そんなブナ林を展示室内に再現しました。ブナ林で生活する植物や動物の姿がわかるようになっています。また、動物たちの鳴き声、照明、音楽を使った演出も行っています。



「ブナ林観察ルーム」のバルコニーから「四季のブナ林」を観察

### 春のブナ林

雪解けはブナの根元から始まっていきます。明るい森の中には、草花が花を咲かせています。子どもをつれたニホンカモシカ、ヒナにエサを与えるイヌワシの姿も見られます。



### 夏のブナ林

森は深い緑におおわれます。森の中は一見静かそうですが、たくさんの動物たちが動き回っています。





### 秋のブナ林

樹木が美しく色づき、実がなる秋。枯れ木には、キノコ類がたくさん生えています。冬に備えるツキノワグマ、ニホンリス。川の中には産卵の準備をするイワナが見られます。

### 冬のブナ林

深い雪に埋まる厳寒の森。雪の下では、動物たちが冬眠しています。そんななか、イヌワシ、ホンドテン、ホンドギツネなどは元気に動き回っています。また、崩れた雪の間からは青々とした常緑の植物も見られます。



## 白山のブナ林観察案内



### チブリ尾根のブナ林

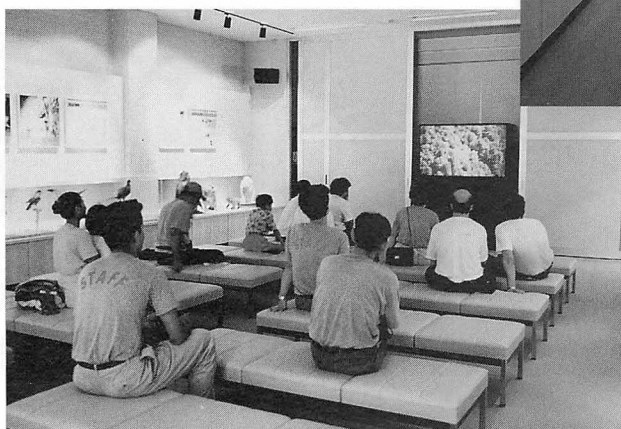
市ノ瀬から別山への登山道沿いの林。白山を代表する大規模な原生林。市ノ瀬から歩いて約30分。





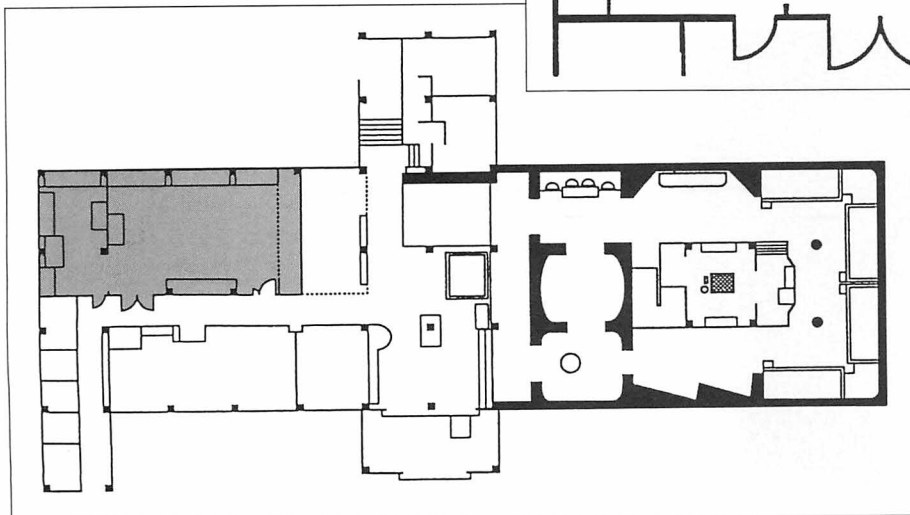
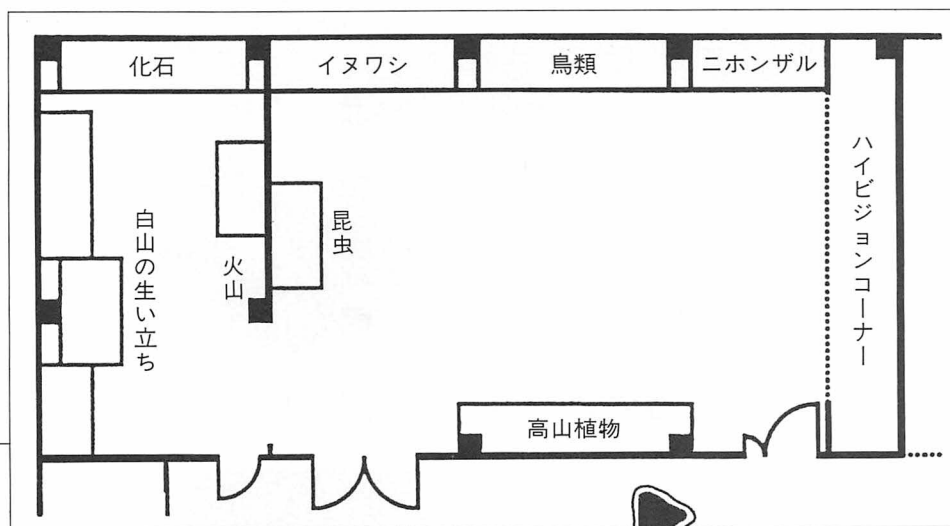
# レクチャールーム、 白山の自然 コーナー

白山地域のニホンザル、鳥類、昆虫、高山植物、化石、火山などさまざまな自然の姿を標本や模型を使ってわかりやすく展示しました。ハイビジョンコーナーでは、美しい自然をハイビジョンプロジェクターに上映しています。



## ハイビジョンコーナー

60インチのハイビジョンは大画面で、きめの細かい映像を映し出します。オリジナルの番組”ブナ林の四季 - 白山の自然 - ”と一般に市販されている番組ソフトを来館者の希望により、上映しています。今後、オリジナル作品を中心に増やしていく予定です。





## 白山のニホンザル

白山のニホンザルは豪雪地帯にすむサルとして知られ、ニホンザルのなかでは最も大きな体をしているものの一つです。そのニホンザルの分布域の変化について解説しています。

ニホンザルの親子

## 白山の鳥類

植生は山ろくから山頂まで標高によって変化していきます。植生の変化に伴って生息する鳥の種類も変化していきます。ここでは、白山のそれぞれの植生に見られる代表的な鳥を紹介しています。



イワヒバリ



## 白山のイヌワシ

イヌワシは全国的に数が少なく、絶滅が心配されています。しかし、石川県では約20つがいと多くの生息が確認されています。ここでは、そのイヌワシの暮らしについて紹介しています。

巢内の両親とヒナ



## 白山の昆虫

ブナ林や高山帯など変化に富んだ自然が残る白山には、多くの昆虫が見られます。いくつかの種は白山を日本における分布の西限としています。なかには白山固有の種または亜種も見つかっています。そんな白山の昆虫について紹介したコーナーです。

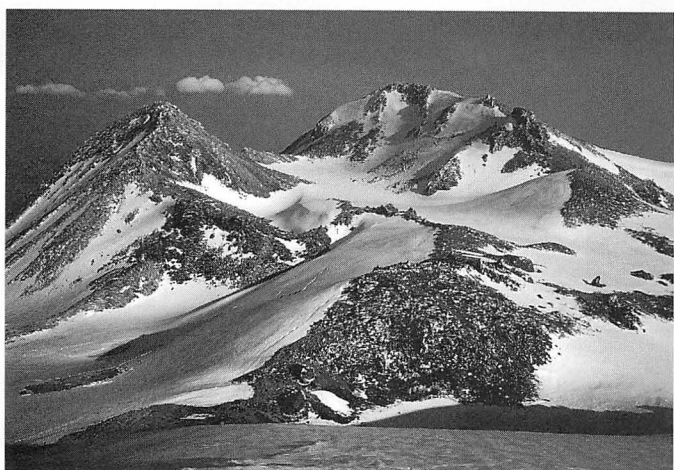
トワダカワゲラ

## 白山の高山植物

白山は高山帯をもつ山としては日本でもっとも西に位置しているため、多くの植物が、白山を分布の西限としています。また、白山にちなんで名のついた植物も多くあります。ここでは、それらの植物について紹介しています。



ハクサンコザクラ



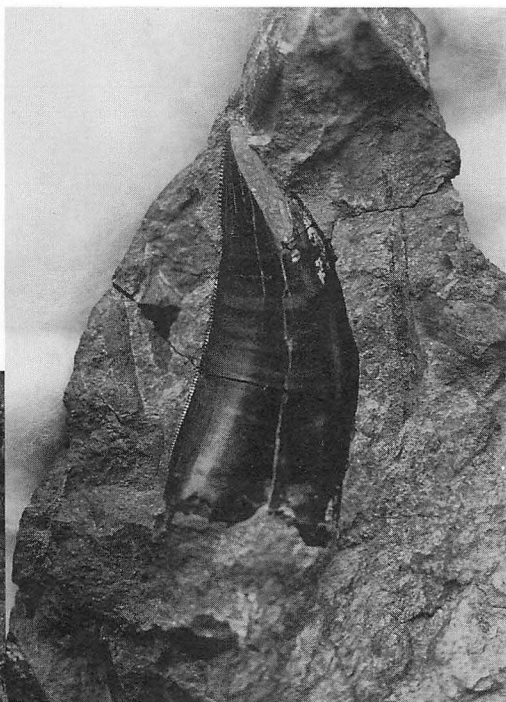
## 白山の生い立ち

白山火山は、今から30～40万年前に誕生し、歴史時代まで活動していました。噴火の場所は何度か変わり、古い火山の浸食と新しい火山の誕生を繰り返し、現在の姿ができてきたのです。ここでは、白山火山の歴史について紹介しています。

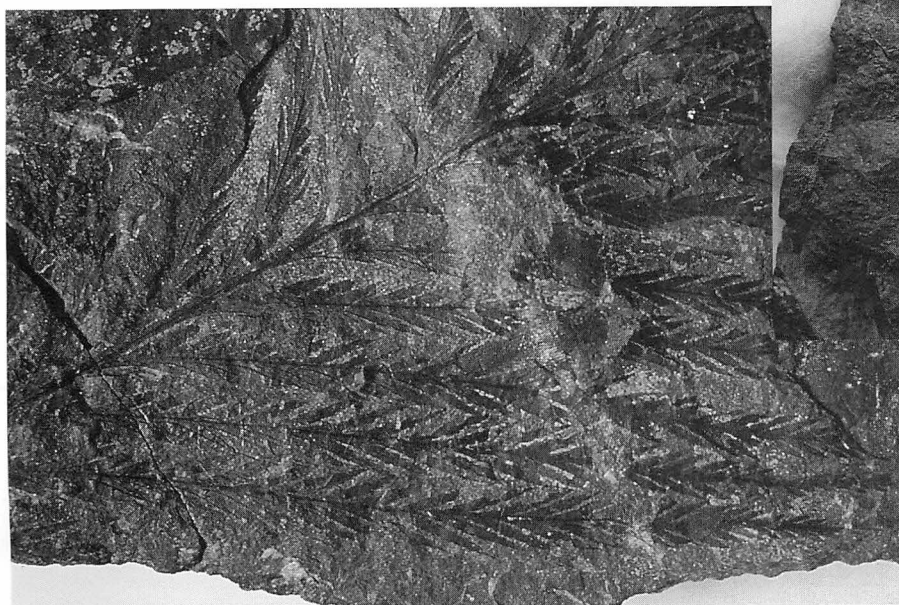
春の白山山頂

## 手取層群の化石

手取層群とよばれる1億数千万年前の地層には、湖や陸地に生育していた動物や、森や林を構成していた植物の化石が含まれています。ここでは、恐竜の化石をはじめ、それらの化石について展示解説を行っています。



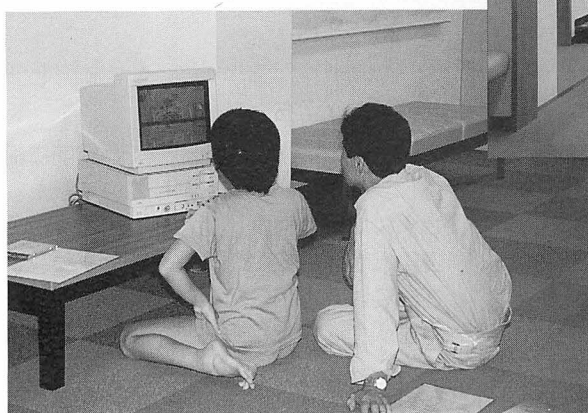
肉食恐竜の歯の化石



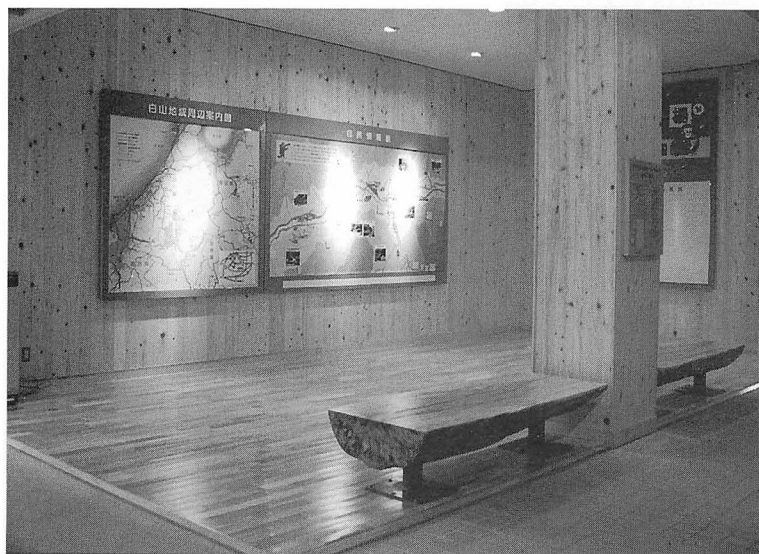
シダ植物の化石

# フリースペース

来館者の方がゆっくりくつろげるスペースです。また、自然についての学習ができるように、パソコン学習、ビデオ、図書をそろえてあります。自由に使って下さい。

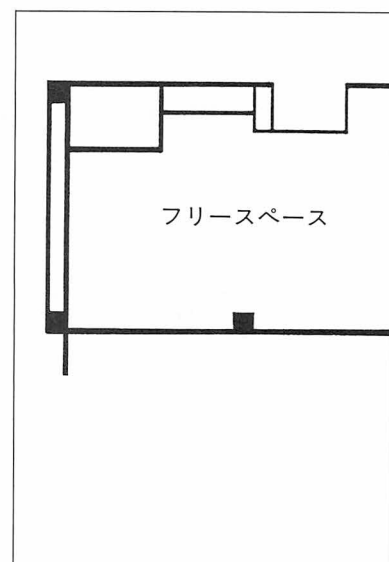
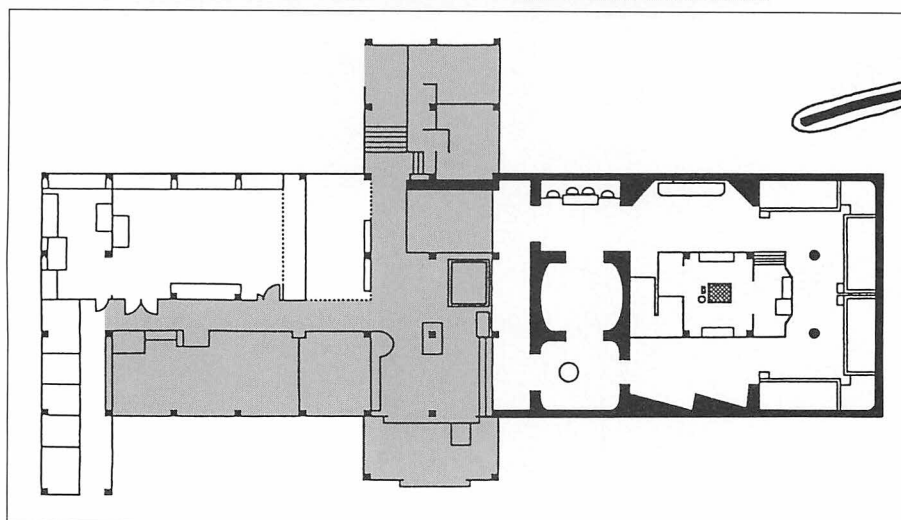


パソコン学習コーナー



## 野外情報コーナー

展示館周辺で見られる動植物や施設について、地図上に写真をはりつけて、お知らせしています。このコーナーでは来館者の方が展示館周辺で撮影した写真、描いた絵なども利用していきたいと考えています。



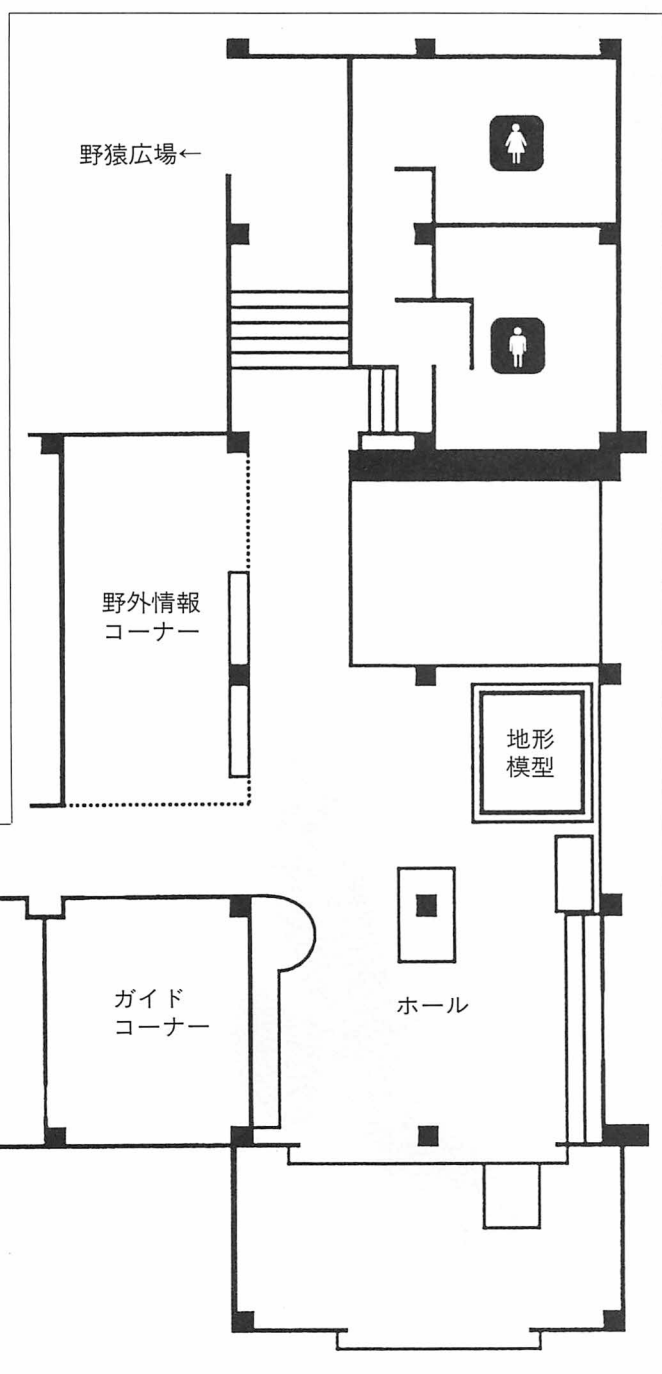


## ホール

来館者の方が展示館に入っ  
てすぐ正面奥に見えるのが、  
大グラフィックパネル。白山  
の頂上部、すそ野に広がるブ  
ナ林を背景にイヌワシが舞い  
降りていく姿を描いていま  
す。



地形模型



## ガイドコーナー

展示館周辺や動植物についての質問、疑  
問があれば何でも聞いて下さい。また、本  
日の野猿情報では、野猿広場にサルが出て  
いるかどうかの案内をしています。



## いぬわし君

センターでは新しい中宮展示館の開館に先立ち、来館される皆さんに、より楽しく展示を見ていただき、また親しんでもらうため、イメージキャラクターを作りました。展示館の中心テーマが白山の自然を代表するブナ林であり、そこを中心に一年中生活している鳥で、石川県の県鳥にもなっているイヌワシがキャラクターとして選ばれました。形としては、翼と尾の羽に白い部分がある若鳥をモデルに、親しみやすい顔つきと姿にしました。

イヌワシは、山では最大、最強の生き物で、豊かな白山の自然の象徴としてふさわしい鳥です。全国的には数が少なく、絶滅が心配されていますが、白山には昔からすんでおり、数も比較的多い鳥です。昭和40年に県鳥に制定され、昭和52年から59年まで県鳥イヌワシ保護調査事業として、当センターで各種生態調査を行いました。その結果は「はくさん」などで紹介してきましたが、県内には金沢以南の山地に広く分布し、40~50羽が生息していること、行動範囲が20~60km<sup>2</sup>と非常に広いこと、ノウサギ、ヤマドリ、ヘビ類が主要な餌であることなどが分かりました。

中宮展示館には白山の自然コーナーにイヌワシの親鳥のはく製があり、一年間の生活などの解説がしてあります。またホールには空飛ぶ若鳥のはく製があり、来館者を展示室へ誘導するために、イヌワシが白山のブナ林の上を飛んでいるグラフィックパネルがあります。いぬわし君は展示館のパンフレットの他に、野猿案内ビデオやブナ林展示室の各コーナーのパネルの中にいますから、さがしてみてください。もし、天気がよく、時間に余裕があれば、外に出て上空をしばらくさがしてみてください。玄関前の芝生のところや吊り橋を渡った休憩園地から、展示館の裏山にあたる猿ヶ浄土や山毛櫛尾山の山ぎわを注意してさがしていると、イヌワシが見つかります。この付近をなわばりとしているつがいが、天気さえよければ、日に何度か上空を飛んでいるはずなので、見つかる確率が高いのです。もしかするとキャラクターのいぬわし君のような若鳥が飛んでいるかも知れません。



いぬわし君



イヌワシ

## 利用のご案内

開館日：5月1日～11月上旬  
(積雪等によってかわります。)

開館時間：午前9時～午後4時30分

入場料：無料

## 交通のご案内

バス：北陸鉄道石川総線鶴来駅前から中宮温泉行き  
白山自然保護センター中宮展示館前下車

マイカー：金沢から約1時間30分、小松から約1時間

白山スーパー林道を利用して岐阜県白川村から約1時間

## お問い合わせ

石川県白山自然保護センター

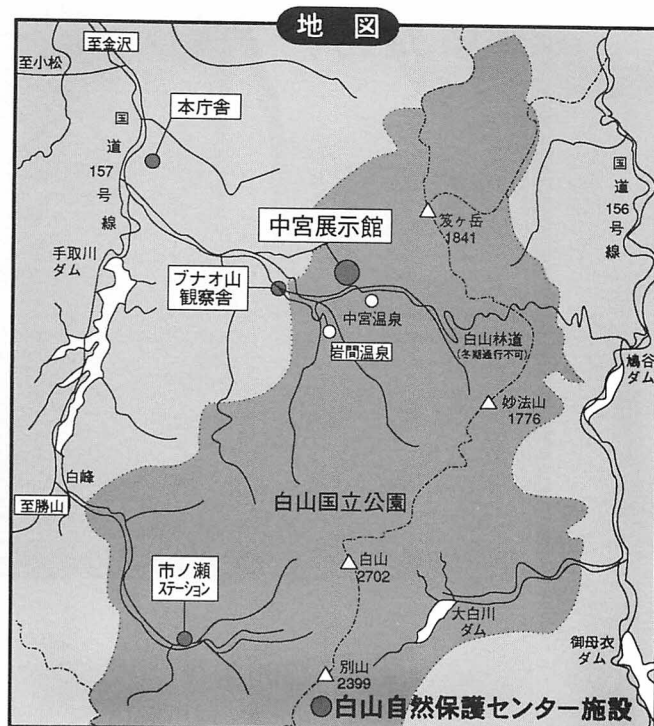
920-23 石川県石川郡吉野谷村字木滑ヌ4

TEL 07619-5-5321 FAX 07619-5-5323

石川県白山自然保護センター中宮展示館

920-23 石川県石川郡吉野谷村字中宮

TEL07619-6-7111



歩きやすい靴でゆっくり自然を楽しんで下さい。動植物の採集はできません。

ゴミは必ず持ち帰って下さい。ゴミ箱は用意してありません。



## 本庁舎

通常の業務はここでを行っています。資料室、図書室には白山の自然、人文の資料を保管してあります。

石川県石川郡吉野谷村字木滑ヌ4

TEL 07619-5-5321 FAX 07619-5-5323

## ブナオ山観察舎

ニホンカモシカ、ニホンザル、イヌワシなどの野生生物が観察できます。

開館日：11月20日～5月5日

開館時間：午前10時～午後4時

石川県石川郡尾口村字尾添

TEL 07619-6-7250



## 市ノ瀬ステーション (国設白山鳥獣保護区管理センター)

白山に生息する野生動物の紹介と展示、自然観察のための情報提供を行っています。また、登山者の指導、遭難対策も行っています。

開設期間：5月10日～11月5日

開館時間：午前9時～午後4時30分

石川県石川郡白峰村字白峰 (市ノ瀬)

TEL 07619-8-2504



300年後、  
この木は大木に  
なっているのだろうか？

300年以上も生きるといわれるブナも、  
こんなに小さな芽生えから大きくなっていくのです。

林には、たくさんの若い命が顔を出します。

しかし、生き残れるのはほんのわずか。

私たちはそんな命を大切に  
見守っていかなくてはなりません。



---

はくさん 第22巻 第1号 (通巻91号)

発行日 1994年9月30日 (年4回発行)  
編集発行 石川県白山自然保護センター  
920-23 石川県石川郡吉野谷村木滑ヌ4  
TEL07619-5-5321 FAX07619-5-5323  
印刷所 株式会社 橋本 確文堂

---